

脳活動計測による快・不快情動の検出

～ 機械学習を用いたニューロマーケティングへの応用 ～

近赤外分光法（NIRS）を用いた快・不快情動の検出に関する内容を中心として、ウェアラブルNIRSの開発とその応用に関する内容を解説いただきます。

研究室の見学会および交流会も予定しております（希望者）。皆様の参加をお待ちしております。

1. 日時 平成30年10月 2日（火） 14時30分～

発表会 14：30～16：30

見学会 16：40～17：10（希望者）

交流会 17：20～（希望者）

2. 場所 日本大学 生産工学部（習志野市泉町1-2-1）

機械工学科 12号館 2階 212会議室

3. 講師 日本大学 生産工学部 機械工学科 教授 綱島 均 氏

4. 定員 20名（先着順）

関係する業界・分野：電気・電子、情報、化学、機械、バイオ

5. 参加費 無料（交流会参加費 2,000円）

6. 締切 平成30年9月28日（金）

FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

7. お問い合わせ 公益財団法人千葉県産業振興センター

東葛テクノプラザ 研究開発課 安原

電話04-7133-0139 FAX04-7133-0162

E-mail：salon@ccjc-net.or.jp

参加申込書

企業名 _____ 住所 _____

職・氏名 _____ 講師・参加企業との交流会参加 有・無

TEL _____ E-mail _____ ヘッドライン登録

（公財）千葉県産業振興センターでは、融資制度や助成金などの支援情報、セミナーや商談会等のイベント情報など、中小企業の皆様に役立つメールマガジン「千葉県産業情報ヘッドライン」を毎週配信しています。登録は無料で、メールアドレスがあれば登録できます。登録ご希望の場合は、「ヘッドライン登録」を○で囲んでください。



参加目的 今後の連携を検討 講師・参加企業との交流 情報収集 その他（ _____ ）

事前質問・要望（取り上げてほしいシース等） _____

●会社のプロフィールをご記入願います。

業務内容 _____ 得意技術 _____

脳活動計測による快・不快情動の検出

～ 機械学習を用いたニューロマーケティングへの応用 ～

日本大学生産工学部機械工学科 教授 綱島 均

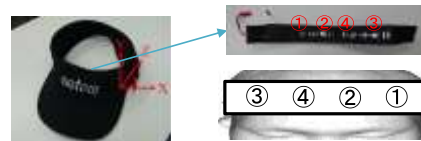
脳活動計測技術の進歩に伴い、人間の無意識下の行動の仕組みや嗜好性など、人間が正確に表現することができない**無意識のプロセスを「見える化」し、マーケティングに応用するニューロマーケティング**が注目されています。NIRS(Near Infrared Spectroscopy:近赤外分光法)は、近赤外光を用いて、酸素化ヘモグロビン(oxy-Hb)と脱酸素化ヘモグロビン(deoxy-Hb)の濃度変化量を計測する装置であり、自然な状態での脳活動計測が簡易に行えるという特徴があります。現在、精神疾患の診断補助や自動車運転時のドライバーの状態評価など様々な分野での活用が期待されています。

NIRS を用いた脳活動計測の**ニューロマーケティングへの応用**の可能性を検討するために、快情動を喚起する画像と不快情動を喚起する画像を呈示し、脳活動情報から喚起された情動を検出する方法について検討を行いました。その結果、喚起される情動の違いが、前頭前野中央部において最も顕著に表れることがわかりました。さらに、実環境下での応用を実現するために、当研究室で共同開発したウェアラブルNIRS装置を用いて、喚起される情動を評価する方法について検討を行いました。前頭前野中央部の活動に注目し、**機械学習**を用いて喚起された情動を識別したところ、快・不快情動を高い精度で識別可能であることがわかりました。講演では、NIRS を用いた快・不快情動の検出に関する内容を中心として、**ウェアラブル NIRS の開発とその応用**に関する幅広い内容を解説する予定です。

脳機能計測装置の発展により
非侵襲で簡単に計測が可能

人間の嗜好性や情動が識別できれば
マーケティングへ応用できる

- ・ニューロマーケティングへの応用
- ・ドライビングプレジャーの評価



Hb-131S(株式会社ASTEM製, 番号:計測ch)



画像引用元(2017.2.15): 株式会社astem HP
<http://www.astem-jp.com/product/nirs/nirs131.html>

